

經營法及設備

- 一 場所 南千住貨座敷跡
- 一 經濟 一泊十五錢を徴し經營費不足額は名士富豪の援助に俟つ
- 一 待遇 一般の營利的木賃宿同様の客扱ひ主義を以て迎へ屈辱的不快を與へざらしむ
- 一 相談 就職口を紹介し煩悶を解決し自暴自棄に陥らしめざるべし
- 一 衛生 浴室を完備し夜具には敷布を枕には枕覆を用ひ木枕を廢し室内外を清潔ならしむ
- 一 娯樂 碁將棋蓄音器を備へ時々宿泊者中より浪花節自慢義大夫自慢の者をして相互慰安を與ふ
- 一 修養 立志小説を備へて發憤を促し宗教叢書により人格の自覺をなさしめ新聞雜誌により社會的智識を與へ時々名士の精神講話を請ふて日本國民としての自覺をなさしむ

相談役 協調會理事 永井 亨
 同 東京市助役 前田 多門
 同 東京府社會課長 山縣 三郎
 經營者 朝日 平吾

